

新庁舎造成工事に伴う表土の臭いについて

令和4年11月から着手しています、新庁舎建設に伴う造成工事については、現在、北側法面を形成するため、表土を削り処分を行っています。

表土は、地面の最も上部の土砂で、木の根や葉っぱ、微生物が含まれ、雨水の浸入及び気温の上昇に伴い、表土の積込み時に攪拌され、発酵した土砂から、酸っぱいような臭いが発生します。

そのため、削り取った表土は、すぐに処分場の方に搬出していますが、法面の切土を行う6月中旬までは、臭いが発生するおそれがあります。

臭いは健康に影響を及ぼすことはありません。

近隣住民の方にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解くださいますよう、よろしくお願いいたします。

